

2026 年 7 月 22 日

薩摩川内市

国立大学法人鹿児島大学

九州電力株式会社

ソニーネットワークコミュニケーションズ株式会社

AI データセンター集積を見据えた地域共創連携協定の締結について

～ デジタルインフラと資源循環による持続可能な地域モデルの構築を推進 ～

薩摩川内市（市長：田中 良二）、国立大学法人鹿児島大学（学長：井戸 章雄）、九州電力株式会社（代表取締役社長 執行役員：西山 勝）、ソニーネットワークコミュニケーションズ株式会社（代表取締役 執行役員社長：中川 典宜）は、薩摩川内市への AI データセンター集積を見据え、デジタルインフラと資源循環による持続可能な地域モデルの実現を目指し、4 者がそれぞれの知見や資源を持ち寄り連携・協力するため、本日、地域共創連携協定を締結しましたので、お知らせします。

（１）協定内容

薩摩川内市への AI データセンター集積を見据え、デジタルインフラと資源循環による持続可能な地域モデルの実現を目指し、4 者がそれぞれの知見や資源を持ち寄り、連携・協力することを目的とする。

〔主な連携事項〕

- ・ GX 推進に資する地域モデルの構築に関する事項
- ・ デジタルインフラの構築・高度化・活用に関する事項
- ・ 研究・教育・人材育成の推進に関する事項
- ・ 資源循環（サーキュラーエコノミー）の推進に関する事項

（２）協定締結の背景

薩摩川内市では、九州電力株式会社の川内発電所跡地への AI データセンター開設に向けた準備が進められており、国が推進する「GX 戦略地域制度」において、データセンター等の集積を含む GX 型産業クラスターの形成に向けた有望地域として選定されています。

また、薩摩川内市は、「サーキュラー都市・薩摩川内市」の実現を目指し、川内発電所跡地における「サーキュラーパーク九州構想」を核として、資源循環を基軸とした環境と経済の好循環の創出、地域産業の多様化や持続的成長に向けた取組を進めており、これらの取組を地域全体で一体的に推進しています。

こうした中、4 者がそれぞれの知見や資源を持ち寄り、デジタルインフラと資源循環を活用した持続可能な地域モデルの構築を推進するため、本協定を締結するものです。

（３）主な役割等

〔薩摩川内市〕

地域産業の多様化や循環経済の推進及び GX 推進に資する地域モデルの構築に向けて、実証フィールドの提供、道路交通網等のインフラ整備、制度設計や行政間調整等を行う。



〔国立大学法人鹿児島大学〕

サーキュラーパーク九州内のサテライトラボを拠点に、GX 分野における研究開発、実証、技術評価、人材育成を推進するとともに、学術的観点から地域モデルの高度化、検証を行う。

〔九州電力株式会社〕

川内発電所跡地（AI データセンター開設予定地）の利活用及び資源循環の推進を図るため、グループ会社のサーキュラーパーク九州株式会社との連携を行う。

〔ソニーネットワークコミュニケーションズ株式会社〕

地域ブランディングやデジタル領域における知見を活かし、地域ブランドと一体となった持続可能な地域モデルのグランドデザインを検討するとともに、デジタルインフラの高度化を具体的に推進する。

■薩摩川内市

名 称 : 薩摩川内市
所在地 : 鹿児島県薩摩川内市神田町 3 番 22 号
代表者 : 市長 田中 良二
ホームページ : <https://www.city.satsumasendai.lg.jp/>

■国立大学法人鹿児島大学

名 称 : 国立大学法人鹿児島大学
所在地 : 鹿児島市郡元一丁目 21 番 24 号（郡元キャンパス）
代表者 : 学長 井戸 章雄
事業内容 : 教育、研究、地域貢献、国際交流、医療ほか
ホームページ : <https://www.kagoshima-u.ac.jp/>

■九州電力株式会社

名 称 : 九州電力株式会社
所在地 : 福岡県福岡市中央区渡辺通二丁目 1 番 82 号
代表者 : 代表取締役 社長執行役員 西山 勝
資本金 : 2,373 億円
事業内容 : 発電事業、電気・ガスの小売事業ほか
ホームページ : <https://www.kyuden.co.jp/>

■ソニーネットワークコミュニケーションズ株式会社

名 称 : ソニーネットワークコミュニケーションズ株式会社
所在地 : 東京都港区港南一丁目 7 番 1 号
代表者 : 代表取締役 執行役員社長 中川 典宜
資本金 : 79 億 6,900 万円
事業内容 : AI・IoT ソリューション事業、デジタルサービス事業、通信サービス事業ほか
ホームページ : <https://www.sonymnetwork.co.jp/>

以 上